

キラキラ光る、 水辺の星よ。

昔、この辺りが田んぼだった頃、夏の夜になると
ヘイケボタルが淡い美しい光をはなち、
飛び交っているのをよく目にしたものです。
最近では、田んぼも減り、
その姿をめぐり見なくなってしまうました。
キレイな水やせせらぎのような
ゆっくりとした流れの川が
少なくなってしまうからでしょうね。
夏休み、孫が遊びにきました。
今年の夏は暑かったので夕涼みをしに
永山新川へ散歩に行っただけです。
川のせせらぎが、やけに懐かしく感じ、
孫と二人で座り込んでいました。
すると・・・
草の中から淡い光が「ふわ〜と、
いくつもいくつも出てくるではないですか。
それは、何十年も昔に見たホタルでした。
孫はそれを見て大喜び、
私も童心にかえり孫としゃべっていました。
ホタルは帰ってきてくれたんですね。
この場所に・・・。

牛朱別川何度も洪水を起こしてきました。牛朱別川の洪水を石狩川へ分流させる水路として建設されたのが永山新川です。地域の理解と協力を得ながら、20年の歳月をかけ完成しました。「地域に親しまれる川づくり」をめざし、自然とのふれあいや地域との連携を柱に水辺空間を整備してきました。ヘイケボタルは水田や用水路、湿地など奇麗な止水域に多く生息します。幼虫期を水の中で過ごし、北海道では7〜8月に発生します。今では水田や湿地の減少に伴い、急激にその姿を消しました。ヘイケボタルは地域ごとに生体や体の大きさに差があり、本州の集団はほとんど1年で羽化しますが、北海道での集団は2年を要することが確認されました。ホタルが最も元気な時間は日没後約1〜2時間です。

「水止め工」

水止め工をすることによって水鳥などが飛来できるような、静水面を確保しました。また、流れがゆっくりなため豊かな自然環境を作ります。

コウホネの花言葉「崇高」「秘められた愛情」

旭川開発建設部 旭川河川事務所